

交通輸送技術検討会（第5回）

議事要旨

日時：平成31年4月16日（火） 9:30~11:00

会場：晴海トリトンスクエア Y棟 18階会議室「Tokyo」

1. 開会

2. 議事に関する主な意見等

(1) 交通輸送技術検討会設置要綱の改正について

意見なし

(2) 交通マネジメント推進に向けた2019年夏の試行概要（案）について

- ・2020年に向けて関係者に継続的に参加してもらう仕組みが必要。
- ・庁有車利用の抑制については、各省庁のトップが率先垂範することが必要。
- ・駐車場利用の抑制（予約専用化）は交通規制と一体的に行うことが望ましい。
- ・目的地を制約することによって需要を抑えるというのは一つの選択であるが、TDMの目標設定と整合するように、実行性を含めて検討して欲しい。
- ・取組事例集（ベストプラクティス）は、より具体的な事例があれば企業が参考に出来る。
- ・集中取組期間の前後に物流の需要がずれるため、前後の期間もデータ収集が必要。また、テストイベント中の物資の増加度合いを把握しておく有効に活用できる。
- ・東京港のコンテナターミナルのゲートオープン時間の拡大については、試行データを本番時にどう活用できるのか、どうしたら貨物がうまく捌けるのかを検討すべき。
- ・TSMについて、日程が決まったら、分かりやすい周知を考えていく必要がある。

(3) 東京2020大会の交通マネジメントに関する提言のまとめ（案）について

- ・大会時には、関係者輸送や誘発需要が上乗せされるため、その分を含めた削減量が必要。
- ・実施目標については国民に分かりやすく伝えるメッセージを検討・工夫すべき。
- ・P4右下の図は、すべてのTSM施策を常に行うかのように見えるが、平常時はTDM中心、TDMの効きが足りないときは部分的なTSM、事故などのイレギュラー時はTSMで対応、というように段階的な表現にすれば役割が分かりやすい。
- ・広報と情報の共有は非常に重要である。前日の混雑情報をカーナビや朝のニュースで伝え、協力を仰ぐといったことも有効ではないか。

(4) 交通輸送技術検討会に係わる今後のスケジュール(案)

意見なし

(5) その他

意見なし

3. 閉 会